

橋本 みのり 准教授 修士(学術)

Minori Hashimoto

✉ minori.hashimoto@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword

大学職員、キャリア支援、高等教育

プロフィール

2023年 放送大学 大学院文化科学研究科 修士課程 人間発達科学プログラム 修了
2015年 1級キャリアコンサルティング技能士
2013年 金沢大学 学生部学生支援課 就職指導係長
2019年 金沢大学 学生部学生支援課 副課長
2020年 金沢大学 就職支援室 室長(兼務)
2021年 金沢大学 学長秘書室 副室長
2023年 金沢大学 学長秘書室 室長
2024年 金沢大学 総務部 特命課長(キャリア形成支援担当)
2025年 公立小松大学 ヒューマンリソースコーディネーション機構 准教授・副機構長

研究分野

高等教育学 / 大学職員論 / キャリア支援

所属学協会

日本高等教育学会、大学教育学会、大学行政管理学会、産業・組織心理学会、日本キャリア開発協会

専門分野・研究分野

高等教育におけるキャリア支援の研究と実践

現代の日本の高等教育は、少子化の進行や都市部集中など多くの課題に直面しています。2024年に約63万人であった大学進学者数は、2040年には約46万人に減少すると予測されています。一方で大学進学率は6割にせまっております、ユニバーサル段階に入っています。

このような状況下で、学生はますます多様化しており、大学は学修者本位の教育を実践し、多様なニーズを持つ学生の成長をサポートすることが求められています。学生が生涯にわたり主体的に学び続け、地域や世界で活躍し、自らのキャリアを築いていく力を身に付けられるよう、一人ひとりを尊重する学生支援の実践に取り組んでいます。

また、大学教職員の役割も大きく変化しています。VUCA時代においては、大学経営や企画立案・推進能力の強化が求められています。それぞれが自分らしく生き生きと職業人生を歩むために、大学職員のキャリア形成支援に關する研究を行っています。

研究内容

大学職員の主体的なキャリア形成に関する研究

18歳人口の大幅な減少など、社会情勢や大学を取り巻く環境が大きく変化する中において、大学の管理運営はますます複雑化・高度化しています。大学職員は従来の事務処理にとどまらない、積極的な役割が期待されており、主体的なキャリア形成が必要といわれています。しかしながら、その実態や支援の在り方など、大学職員のキャリアそのものに着目した研究は、まだ多くはありません。そこで、大学職員のキャリア形成について特徴のある年代に焦点を当て、実態やプロセスを明らかにすることを試んでいます。さらに、地方大学における人材育成や組織開発に貢献するとともに、地域社会の持続的発展にも寄与することを目指しています。



大学生の自己理解ワークにて講師を担当



大学職員研修にて講師を担当

自分らしいキャリアを
織り上げるために

シーズ・地域連携テーマ例

- 高等教育におけるキャリア形成
- 自己理解とキャリア形成
- 組織内におけるキャリア支援
- キャリア支援者のための支援

講演・口頭発表等

- 国立大学法人事務職員の現状と将来に対する認識—KJ法による構造化—, 橋本みのり, 第38回産業・組織心理学会大会(静岡)ポスター発表, 2023年9月
- 国立大学法人事務職員を対象とした研究(修士論文報告と博士課程研究計画), 橋本みのり, 日本教育社会学会若手研究者交流会ラウンドテーブル(広島), 2024年3月

社会貢献活動

- 日本キャリア開発協会 特任業務従事者



第38回産業・組織心理学会大会(静岡)にてポスター発表